

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

> **さいたま市立 指扇中学校** > > > > > > >

学校教育目標「自信と誇りに満ちた指中生」

本校は、教職員、生徒ともに SDGs17 の目標を様々な教育活動の場面で、意識しながら ESD（持続可能な開発のための教育）を推進しています。ESD の考えを生かした、「自ら学び、考え、行動できる生徒」の育成に向けて、今後想定される課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組む教育活動を展開しています。



■所在地：さいたま市西区西大宮 3-31-1 ■電話：048-624-6234
■FAX：048-624-2479 ■交通：JR埼京線西大宮駅北口徒歩 10 分

01 持続可能な社会の創り手となるための ESD 教育の推進

芝浦工業大学中口様による生徒講話と教職員研修の実施



本校では、中口教授による ESD 講話を生徒に実施し、「SDGs とは何か」「SDGs と社会課題の結

びつき」「学校生活や日常生活と 17 の目標との結びつき」などを
知り、SDGs を自分事として捉え、考えるきっかけをつくっています。
また、学習指導要領にも「持続可能な社会の創り手」という表現で ESD の観点が盛り込まれており、生徒に気付きを与え、主体性を育む学習プログラムを実践できるよう中口様による教職員研修を実施しています。



02 国際教育（多文化共生）の充実

“届けよう、服のチカラ” プロジェクトの実施



ファーストリテイリングが UNHCR とともに取り組む、参加型学習プログラムに参加しています。ユニクロ・シーユーより講師を招き、SDGs の概要やリサイクルの意義、服にはどのようなチカラがあるのか学び、自分たちにもできる社会貢献があることを学んでいます。講演会后、生徒が主体となり、役割分担を決め、ポスターや回収ボックスの作製等を行い、服を回収し、服を必要としている国へ発送しています。



03 地域の人材を活かした教育の推進

地域の活動への参画と地域の人材活用を通じた教育活動の推進



地域のお祭りや公民館主催の様々な活動などに生徒が参加したり、地域の避難所運営訓練防災ボランティアとして参加したりすることで、地域の方との交流を深め、地域に貢献する意識の向上や人間性を育てています。このような活動を通して SDGs の目標の④「質の高い教育をみんなに」⑪「住み続けられる街づくりを」⑪「パートナーシップで目標を達成しよう」の意識を高めています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会は持続可能な開発目標（SDGs）を推進しています。



さいたま市立
馬宮中学校



- 1 言語活動の充実と基礎学力の向上
- 2 生徒の豊かな心の育成と主体的活動の充実
- 3 健康で安心・安全な学校生活の推進
- 4 情報公開と保護者・地域等との双方向コミュニケーションの促進
- 5 小・中一貫教育の推進と充実



■所在地：さいたま市西区二ツ宮 589-1

■電話：048-624-0623

■FAX：048-624-2131

■交通：大宮駅西口から 西武バス指扇駅行き 市営住宅前下車 3分

01 「魅力ある、活気ある学校づくり」生徒会組織を中心とした SDGs への取組



生徒会本部では、いじめや男女平等への意識付けとして、全校生徒に向けて機会を見つけて呼びかけを行っています。その他の各委員会では、SDGs の目標達成に向けた取組を実施しています。

各委員会の取組状況

- ①**生徒会本部** 目標 5,10 いじめ撲滅や男女平等社会をテーマにした仲間を助ける委員会（PSC）の設立 あいさつ運動 ②**学級委員会** 目標 10,17 クラスでいじめ0を目指し、継続するために声かけ、あいさつ運動 ③**体育委員会** 目標 3 日本一の体育授業を目指す授業規律 ④**保健委員会** 目標 3,6 感染症予防に向けたポスターづくり 手指消毒や検温等の健康管理 ⑤**整美委員会** 目標 6,11 誰もがきれいに安心して使える学校を目指した清掃・美化活動 ⑥**給食委員会** 目標 2 残食0運動 食材に関する豆知識ポスターの作成 ⑦**放送委員会** 目標 4 自主的・主体的な活動を目指した放送活動 豆知識のコーナー ⑧**図書委員会** 目標 4 読書マラソンの実施 ⑨**仲間を助ける委員会** 目標 10,17 いじめを許さない集団を作るための話し合い



＜生徒会本部による生徒会朝礼＞



＜いじめ撲滅に向けた掲示物＞



＜近隣小学校児童との話し合い＞

02 人権教育の視点からの取組（「馬宮憲章」を軸に）



本校の生徒は、純朴で素直な反面、自分を取り巻く環境（特に人的な）の持つ問題を意識することが不足している生徒もいます。本校では、生徒会で定めた「馬宮憲章」の「認め（合い）」、「支え（合い）」、「助け（合い）」の精神を軸に人権教育に取り組んでいます。例年は以下のような取組を行っています。

4月 「学級びらき」「人間関係プログラム」による集団と個人の関係付け、相互理解・尊重

6月 社会科「江戸時代の身分制度（2年）」「大正デモクラシー（3年）」でのわが国での人権史、体育祭に向けた取組での相互理解・尊重、「修学旅行（3年）」取組を通しての相互理解と尊重

6月 人権作文・人権標語への取組・応募、社会科「古代の人々の暮らし（1年）」「戦時下の国民生活（3年）」、いじめ撲滅月間の取り組み、馬宮憲章紹介「認め合い、支え合い、助け合い」、「修学旅行（3年）」取組を通しての相互理解と尊重

7月 社会科「人権と日本国憲法（3年公民）」で日本国憲法における基本的人権

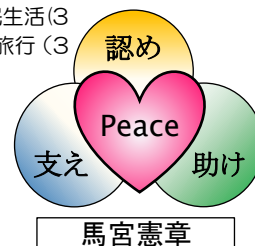
8月 校内研修会で教職員向けに人権教育主任研修会の内容伝達

9～11月 各種行事に向けた取組を通しての相互理解と尊重

12月 人権週間での全校授業（講話、ビデオ視聴、人権作文、人権標語の発表・掲示）

1～2月 「未来くるワーク（1年）」「自然の教室（2年）」の取組を通しての相互理解・尊重

2～3月 「卒業証書授与式」に向けた取組を通しての相互理解・尊重



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDG s 教育を推進しています。



さいたま市立

大宮西中学校



創造する生徒(かしこく)

＊ ＊ 学校教育目標 ＊ ＊ 心豊かな生徒(ゆたかに)

鍛える生徒(たくましく)の育成

＊ ＊ 基 本 理 念 ＊ ＊ 教育は信頼と愛情の上に成立する

＊ ＊ 学校経営方針 ＊ ＊ 『あい』と「志」をつなげる教育活動の推進

- 1) 子どもたちが、自ら学びを更新し、自分の頭で考え、主体性をもって、学び合い・認め合い 成長する学校
- 2) 生徒が安全・安心して学び続ける居場所づくりと生徒の可能性を開花させる学校
- 3) 学校に携わるすべての人々の Well-being(幸せ)の実現に向けた、学校・家庭・地域の連携と協働する開かれ学校
(コミュニティ・スクールとスクールサポートネットワークの一体的推進)
- 4) 教職員が、情熱とプロ意識をもち、互いに支え合い 「チーム大宮西中」として実践する活気ある学校



■所在地：さいたま市西区三橋 6 丁目 1 5 5 8 番地

■電話：048-624-4339

■FAX：048-624-2132

■交通：J R 西大宮駅から徒歩 1 5 分

0 1 学校全体で取り組む、国際性・社会性の育成



生徒会を中心に学校全体で持続可能な世界を創るための取り組みを行っています。各委員会が目標を設定し、それぞれの立場から、目標達成に向けた活動を行っています。

＊ ＊ ＊ 各委員会の掲げる中心的な目標 ＊ ＊ ＊

学級	体育	給食	保健	環境美化	掲示	図書	放送	緑化
10 10・16 ・平和 ・平等 ・自治活動	3 3 ・健康 ・体力	2 2 ・食育	3・6 3・6 ・健康 ・安全 ・衛生	6・11 6・11 ・環境 ・節約 ・衛生	4・11 4・11 ・UD ・学習意欲	4 4 ・読書 ・文化	4・11 4・11 ・広報 ・情報発信	13・15 13・15 ・緑化 ・環境 ・資源



給食委員会では残菜量を調べ、食品のロスを改善するために月ごとの残菜量をグラフ化し電子掲示板に表示するなど、啓発活動を行っています。

また、保健委員会と環境美化委員会では協働でトイレや水道場に掲示をするなどして、啓発活動や衛生面の保全活動を行っています。



0 2 教科での取組



各教科の特性を生かし、授業の中で活動の推進をしています。例えば、家庭科の授業では、「自然に優しい住居生活」「クリーンエネルギーについて」等、生徒が SDG s について各自で考えたテーマに沿って調べ学習を行い、発表し合うことで、SDGs への理解と意識の向上をねらいました。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



＜学校教育目標＞ 力強く生き抜く生徒の育成



■所在地：さいたま市西区宮前町 1467-1 ■電話：048-623-7381
■FAX：048-624-2133 ■交通：JR 日進駅から徒歩 10 分

01 生徒が主体的に取り組む授業の実践



本校では、各教科等の授業において、ICT を効果的に活用することで、生徒が主体的に学習に取り組めるような授業実践を行っています。この取り組みを基盤とし、3 年生の総合的な学習の時間では、SDGs の 17 の目標から各自が 1 つを選び探求し、世界各国の実態や取り組み等を発表し合うことで、国際理解を深めています。



02 心の教育の充実



本校では、道徳の授業において、生徒がより多様な考えや価値観を身に付けられるよう、学年教員がローテーションを組んで授業実践を行っています。また、生徒会活動では、「校則見直し検討委員会」の活動や、各専門委員会では上級生が中心となり、生徒自身がより豊かな学校生活を送るために活動しています。さらに、生徒の学校生活や心の健康を守るため、いじめ防止の取り組みや教育相談週間の設定等、生徒指導・教育相談体制の強化に努めています。こうした活動を通して、SDGs の目標 3「すべての人に健康と福祉を」、目標 10「人や国の不平等をなくそう」、目標 16「平和と公正をすべてのひとに」に貢献していきたいと考えています。

03 地域とつながる学校



本校では、生徒が地域社会の一員としてボランティア活動などの社会参画を推進しています。具体的には、生徒会が主体となり、番場公園の環境整備、西区避難所開設訓練参加、公民館での高齢者触れ合い体験、大宮日進七夕まつりへの参加を行っています。また本校 PTA は、地域の方の御協力をいただき、資源回収を行っています。こうした活動を通して、SDGs の目標 7「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」、目標 11「住み続けられるまちづくりを」、目標 15「陸の豊かさも守ろう」に貢献していきたいと考えています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立

植水中学校

学校教育目標

「自ら輝け 夢をつかめ」

～笑顔・感動、 はつらつ植水～



■所在地：さいたま市西区三条町345-1 ■電話：048-623-2581

■FAX：048-624-2134 ■交通：大宮駅西口より西武バス三条町バス停下車 徒歩5分

01 キャリア教育の推進

「生徒一人一人が主体的に進路を選択できる能力や態度の育成」

～すすんで学力の向上を図り、自分の考えを発表できる生徒の姿を目指して～



将来の夢や目標をもち、主体的に進路を選択できる生徒を育成します。そのために、自ら進んで学習する力や自分の考えを自信をもって発表できる力を生徒に育成します。

(1) 教科が好きになり主体的に学ぶ生徒の育成

教科の学習を好きにさせる取組として、スタディサブリを使い、数学の問題を中心に取り組む朝学習の時間を週に1回設定しています。また、月ごとに各教科から配信された宿題に取り組み、スタディサブリの使用の定着を目指しています。



(2) 自分の考えを発表できる生徒の育成

学級会で、①議題に対して自分の考えをもつこと②自分の考えを自信をもって発表すること、を目標として取組を行っています。クラスの合意形成を図ることもねらいの1つです。

(3) 主体的に進路を選択できる生徒の育成

自分のよさを知り、得意なものに一層磨きをかけたり、苦手なものを克服しようと努力したりする資質を育成します。また、将来の夢や目標をもち、日々の学習に取り組む資質を育てます。



02 防災教育の推進

自らの安全を守り、他者の安全に配慮し、ともに助け合うことができる生徒の育成

～災害時に「自助」「共助」が主体的にできる生徒の育成を目指して～



本校の生徒は、荒川の沿岸という立地から、台風等に伴う水害等に備えて、知識を身に付けておく必要がある。そこで、災害時に「自助」「共助」できる生徒の育成を目指して防災教育に取り組んでいる。

(1) 防災への関心、知識や自助共助の訓練経験をもった生徒の育成

日本青少年赤十字(JRC)に加盟し、災害に対する知識、取組を学び、災害時に自ら動き地域に支援できる生徒を育成しています。

(2) 地域に貢献できる生徒の育成

地域に貢献できる生徒を育成するために、地域が主催する避難所運営訓練への参加や「輝き事業」地域の清掃活動を行っています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



さいたま市立
土屋中学校



〈学校教育目標〉

「夢に向かって」

〈目標とする学校像〉

「生徒が希望をもって登校し、笑顔で活動し、満足して下校する学校」

〈目標とする生徒の姿〉

「希望の登校 笑顔の活動 満足の下校」



■所在地：さいたま市西区大字土屋 1 7 6 6 - 1

■電話：048-622-4611

■FAX：048-624-2135

■交通：JR 川越線指扇駅徒歩 15 分

01 地域の特徴（農業）について知る



1 年生は総合的な学習の時間で「みんなでつくろう！土屋米 Ver.1～地域的特色をつかもう～」をテーマに地域の協力を得ながら本校の周辺地域の特徴を調査している。

特に農業に着目し土屋中学校周辺の『稲作づくり』に地域の歴史、環境との関わりなどについて主体手に学んでいる。

02 米づくりを通じて食料問題、環境問題を考える



2 年生では総合的な学習の時間で「みんなでつくろう！土屋米 Ver.2～田植え・稲刈りを通して～」をテーマに「田植え」「稲刈り」等の農業体験を通して食糧問題や環境問題について学ぶ。加えて、働くことの意義や地域の貢献することの大切さについても協同的に学ぶ。

03 自分たちの活動を通じて社会について考える



3 学年では、総合的な学習の時間で「みんなでつくろう！土屋米 Ver.3～地域に貢献しよう～」をテーマに学習を行う。

自分たちが育て収穫した米を給食等で味わうとともに、地域で流通させるための仕組みなどを学習する。

自分たちの活動が地域経済に貢献することについて主体的、協同的に通して学ぶ。